

1 日 時 令和7年2月12日(水) 14:00~16:00

2 会 場 三島長陵高等学校

4 参加者

(1) 学校運営協議会委員(1名欠席)

堅田淳子様 赤塚めぐみ様 勝又博様 小松照夫様 瀬川貴子様

(2) 学校教職員

校長 副校長 教頭 事務長

3 内 容

(1) 授業参観

(2) 学校運営協議会

ア 校長挨拶

- ・学校の様子を説明(生徒がよく学校に来ている。挨拶など反応を見せてくれる生徒が増えた。)
- ・本校の社会での存在意義、今後も地域の人が憧れる学校になってほしい。

イ 協議事項 (ア)~(ウ)について副校長より説明

(ア) 令和6年度学校関係者評価について

(イ) 教育活動の説明(各分掌、年次、他)

(ウ) その他(評価報告書の提出について)

ウ 情報交換、学校運営協議会委員より御助言

以下、委員より学校自己評価についての質疑、助言を頂く

()内は学校からの回答

- ・アンケートより「生徒が学校の中に心の落ち着く場所がある」の評価が低い生徒がいるが、スクールカウンセラーなどの活用を周知した方がよいのでは。
(にぎやかな雰囲気が苦手な生徒がいる。これらの生徒の居場所を作ることも課題だと思われる)
- ・少人数教育、補習・学習指導の自己評価がBである根拠は。
(実施はしているが、その成果を測ることは難しいのでBである。)
別の委員より、評価はもっと高くてもよいのでは。
- ・生徒のキャリア教育、心身の健康について課題を抱える生徒が社会に出るときに自ら援助を求めることができればよい。何か方策はあるか。
(SSTなどの導入が考えられるが、学校の特性上、生徒が一斉に取り組むことが難しいと思われる。)
別の委員より、中学校のときに援助を求めても満足できる成果がなかったことも原因ではないかとの指摘あり。

- ・授業をお互いに参観する教員が増えているのは良い傾向。授業は見てもらうこと、見に行くことで授業力はアップする。今後も継続を望む。
- ・学校が楽しいと思う生徒が増えているのは好ましい状況である。保健室など居場所があることが原因だと思われるが、生徒のいる所には一定のルールは必要だと思われるが如何か。(保健室の利用についてはルールがある)
- ・生徒の居場所のひとつに部活動があるが、市内の中学校でも部活動の継続は課題が多い。高校では如何か。
(本校では部活動は任意加入であり、参加はし易いのではないか。)
- ・経営目標とスクールポリシーが合致したことで評価が分かりやすくなっている。
- ・生徒アンケートのなかで昨年度よりネガティブな評価が増えたことの検証は如何か。(担当に確認し、改善を促したい。)
別の委員より、昨年度よりも生徒の回答が増えているのでネガティブな意見も増えたのではないか。ネガティブな評価をした生徒にちょっとした支援をすれば、成果があるのではないか。
- ・子どもにはさまざまな期待をしてしまうが、面談のときの担任のアドバイスでとても気持ちが楽になった。
- ・担任より高校卒業後の進路をいくつか示されたことで本人が高校卒業に価値を見出したようで、学校生活の取り組みが良くなっている。

エ 次年度の学校運営協議会について
委員の継続について依頼と説明